

# 局ヶ岳(1029m) & 珍布峠ウォーク

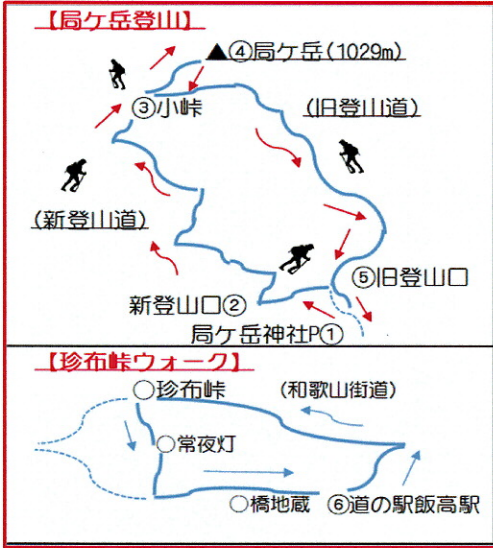


(ハイライトシーン) [※ 実施日--2022年5月24日(火)] ※弥生班 計8名

(局ヶ岳・珍布峠 ロードマップ)

① (8:4出発 局ヶ岳神社) →

② (登山届の投函)



④(山頂を目指す『お局さま』)

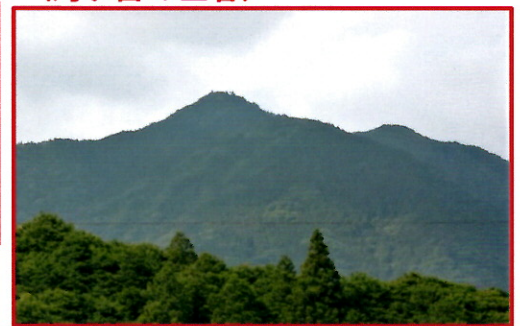
③(新登山道の登山口)



⑤(局ヶ岳 山頂)

⑥(ランチタイム)

(局ヶ岳の全容)



⑦(珍布峠ウォーク 開始)

⑨(珍布峠)



⑪(姿見の池の前で---)

⑧(道行橋)

⑩(礫石)

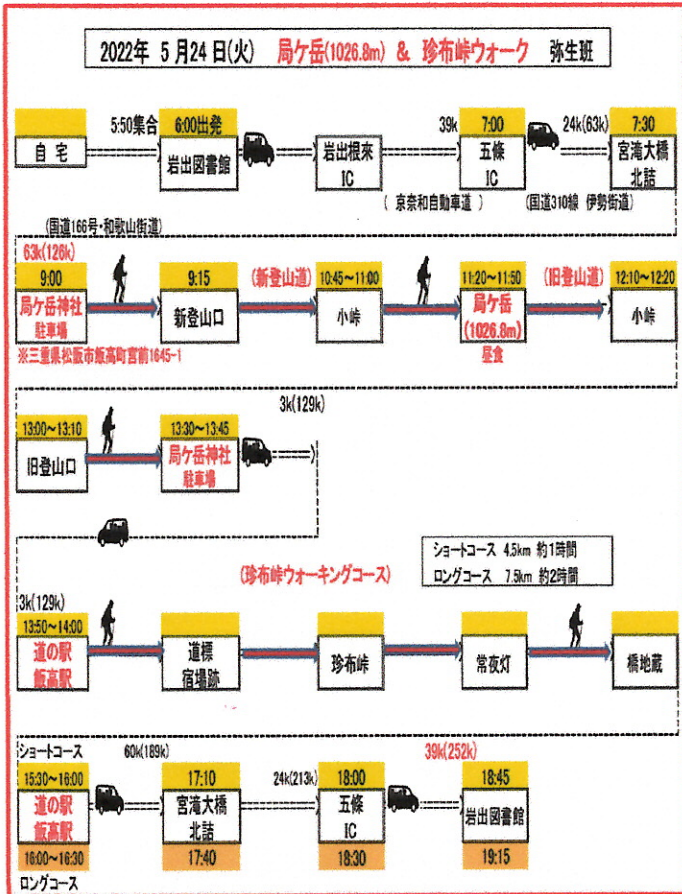


# 局ヶ岳 & 珍布峠ウォーク

(1029m)

※(山行日) ---- 2022年5月24日

※(行程) [予定]



## (局ヶ岳 & 珍布峠 ロードマップ)



# 紀峰山の会 (弥生班)

(メンバー) ----- 計8名

※(行程) [結果]

(往路---車移動)

- 岩出図書館 (出発) 6:00
- 局ヶ岳神社 駐車場 (到着) 8:45

(山行)

- ① 駐車場 ----- 9:00
- ② 新登山口 ----- 9:15
- ③ 小峠 ----- 10:50
- ④ 局ヶ岳 到着(昼食) ----- 11:20
- 出発 ----- 11:50
- ③ 小峠 ----- 12:20
- ⑤ 旧登山口 ----- 13:00
- ① 駐車場 ----- 13:45
- ⑥ 道の駅飯高駅 ----- 14:30
- 周回ウォーク ----- 16:00

(帰路---車移動)

- 道の駅飯高駅 (出発) 17:00
- 岩出図書館 (到着) 20:00

※[はじめに]

(局ヶ岳 1029m)

- ・局ヶ岳は伊勢三山(局ヶ岳・白猪山・堀坂山)の1つで、伊勢の三つ星とも言われ、伊勢市の方角から見ると、これら3つの山が同じ位の高さに並んで見ることができる。
- ・局ヶ岳の由来は、南側から見ると「お局さん」が十二単をまとっているようにみえるため、局ヶ岳と呼ばれるようになったとか?

(珍布峠)

- ・珍布峠(めずらしとうげ)は、国分け伝説の史跡で、旧和歌山街道にあります。珍布峠などの史跡を含む“珍布峠ウォーキングコース”は、平成27年9月に“新日本歩く道紀行100選「歴史の道」”に認定された、飯高駅発着のコースです。
- ・道の駅 飯高駅の隣、“飯高地域振興局”前の信号の脇に1つ目の案内看板があります。案内看板は、コース上に全部で30ヶ所設置されています。各案内看板にはマップも付いていますので、迷うことなくコースを回ることが出来ます。

(写真1) (8:45 駐車場へ到着)



- ・京奈和道から和歌山街道、伊勢街道を経て、局ヶ岳神社の駐車場へ到着  
怪我の無いように先ずは、準備体操!!

(写真2) (局ヶ岳神社前)



- ・山行開始の記念撮影。  
天気も良く、頑張るぞー

(写真3) (登山届を投函)

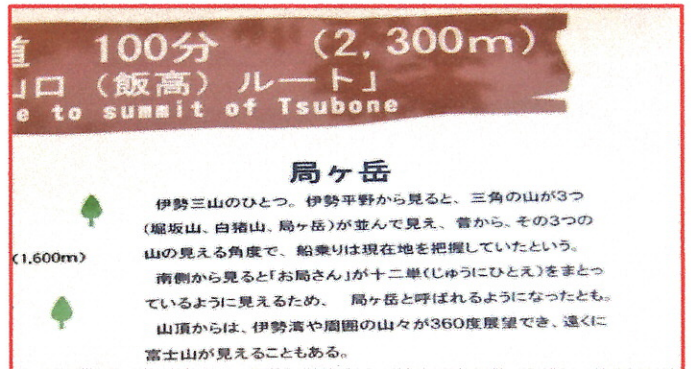


- ・登山届投函箱のあるところへは、必ず投函  
してます。  
安全第一!!

(写真4) (9:15 局ヶ岳 新登山道 登山口)



- ・10分程歩いて登山口へ。最初から急登だ。



(余談)

- ・登山口の案内板には「局ヶ岳」の由来等が書かれており、「お局さんが十二単をまとっている姿に見えることから局ヶ岳に呼ばれている」とのこと。
- ・我が班には、「お局さま」が多いが十二単が似合う人は居るのだろうか?  
いやいや、そもそも現在の「お局さま」の意味は、口うるさい女性の意味ではと……心の中で思いつつ、決して言葉にはできず急登を登っていく。

(写真5) (休憩タイム)



- ・休憩タイム=おやつタイム  
メンバーの一人が冷えたビワをふるまい、初物と皆が喜び、舌鼓をうつ。

(写真6) (10:50 小峠到着)



- ・ここは、新登山道と旧登山道の合流点。  
心地よい風が吹き、小休止を取る。

(写真9) (頂上でランチ)



- ・まずは乾~杯。  
汗をかいた後の一杯は、うま~い.....

(写真7) (更に急登が続く)



- ・小峠からは更に厳しい道となる。  
小休止を幾度かしながら、根気強く進む。

(写真10) (下山)



- ・下山は、旧登山道をいく。  
新登山道と違い、苔岩があり見晴らしは無いが幻想的な雰囲気である。

(写真8) (11:20 局ヶ岳 山頂)



- ・晴天、気分は最高!!  
他の登山者に依頼し、本日のフルメンバーの撮影。

(写真11) (局ヶ岳の全容)



- ・下山後、道の駅「飯高駅」から撮影

(写真12) (14:30 珍布峠ウォーク開始)



・本日の第二部、珍布峠を散策、  
5人参加。3人は休憩。

(珍布峠の見どころ)

- ・木戸の一軒家
- ・馬の水呑
- ・死人谷
- ・道行橋
- ・珍布峠
- ・石灰爺さん
- ・礫石
- ・姿見の池 他

(写真13) (国道の最初の案内板をスタート)



(写真14) (珍布峠)



・メインの「珍布峠」  
切通し……時代劇「木枯し紋次郎」の世界

(写真15) (礫石)



(写真16) (姿見の池)



(写真17) (姿見の池の前で一)



・バックは、「局ヶ岳」

※[最後に](感想)

- ・「局ヶ岳」と「珍布峠」の二つのコースを計画し、1日で2倍の楽しみ方ができた。帰りには、道の駅「飯高駅温泉」入浴ができ、心の洗濯もでき、有意義な山行であった。
- ・男2人、女6人の旅で、「お局さま」のおもりは大変であります……